

設備の名称	横ピロー包装機
設備型式	JPMMA-10

【チェックリスト】

		設備メーカー（製造事業者）記入欄	証明者 チェック欄								
該 当 要 件	販売開始要件の確認	<div>1. 該当</div> <div>2. 非該当</div> <p>当該設備の販売開始日が、取得日から一定期間に属する年度開始の日以後であること。</p> <p>販売開始年月 : 2015 年 2 月 ①販売開始年度 : 2015 年度 (※1)</p> <p>取得等をする年月 : 2021 年 10 月 ②取得日を含む年 : 2021 年</p> <p>②-①= 6 年 が一定期間(※2)の要件内</p>									
	生産性向上に該当するか	<div>1. 該当</div> <p>＜比較指標＞ 以下の1～3のいずれかに○を付け、比較指標を記載する</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 単位時間当たり生産量</td> <td rowspan="3">* 具体的＜比較指標＞ 処理能力の向上</td> </tr> <tr> <td>2. 歩留まり率</td> </tr> <tr> <td>3. 投入コスト削減率</td> </tr> </table> <p>一代前モデル 型式: JPMMA-05 ③販売開始年度: 2010 年度 (暦年表示)</p> <p>＜比較指標の数値・単位＞</p> <table border="1"> <tr> <td>○一代前モデル (B)</td> <td>100個/分</td> </tr> <tr> <td>○当該モデル (A)</td> <td>150個/分</td> </tr> </table> <p>＜生産性向上＞の具体的説明</p> <p>当該モデルが能力等の生産性を向上させた改良点などを、簡単に分かりやすく説明する</p>	1. 単位時間当たり生産量	* 具体的＜比較指標＞ 処理能力の向上	2. 歩留まり率	3. 投入コスト削減率	○一代前モデル (B)	100個/分	○当該モデル (A)	150個/分	
	1. 単位時間当たり生産量	* 具体的＜比較指標＞ 処理能力の向上									
	2. 歩留まり率										
	3. 投入コスト削減率										
	○一代前モデル (B)	100個/分									
	○当該モデル (A)	150個/分									
	<p>＜生産性向上年平均＞の算出式と算出結果</p> <p>年平均＝指標数値：$\frac{(A) - (B)}{(B)}$ ÷ 販売開始年度：(① — ③)</p> <p>$= \frac{150 - 100}{100} \div (2015 - 2010)$</p> <p>$= 10.0 \% \text{ (小数点第二位以下を切り捨て、第一位まで記載する)}$</p>										
	該当要件への当非		<div>1. 該当</div> <div>2. 非該当</div>								

(※1) 販売開始年度はカタログや仕様書等で確認できる、合理的な時期とすること。

なお、年度とはその年の1月1日から12月31日までの期間をいう。

(※2) 一定期間は、機械装置：10年以内、工具：5年以内、器具備品：6年以内、建物附属設備：14年以内

(※3) 新製品であっても、同類の設備がある場合には比較すること。

比較する装置が全く無い場合は、類似商品が全くないことを事業経過等から明確に証明すること。

比較指標がなくとも、生産性等の仕様を示す資料は提出すること。